

《担当者名》志水 幸 [koh@hoku-iryo-u.ac.jp]

【概要】

この演習では、社会福祉学原理特論、社会福祉学原理演習 で展開された主題について、相互批判的な議論を通して了解することを目指す。

【学修目標】

社会福祉政策やソーシャルワークに係る諸現象について、原理的視座から再審問することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	現状認識あるいは対象認識	生活問題の諸相	志水
2	現状認識あるいは対象認識	制度的射程	志水
3	現状認識あるいは対象認識	社会変動による変化	志水
4	現状認識あるいは対象認識	現実との乖離・実践力への懷疑	志水
5	閉塞系システム	Richmond流 “for people”	志水
6	閉塞系システム	EBP (EBPM)	志水
7	閉塞系システム	NBP (DT・CBPR)	志水
8	閉塞系システム	ディレンマ	志水
9	開放系システム	Addams流 “with people”	志水
10	開放系システム	専門性/専門職性の越境	志水
11	開放系システム	逆説としてのinstitutional residual?	志水
12	開放系システム	cause / function	志水
13	再び原理的問い	critical reality?	志水
14	再び原理的問い	double focusing	志水
15	全体の総覧	議論のまとめ	志水

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

文献・資料の分析・理解30%、 プレゼンテーション30%、 レポート40%により、総合的に評価する。

【教科書】

特に指定しない。必要な資料等について、適宜配布する。

【参考書】

必要に応じて、適宜指示する。